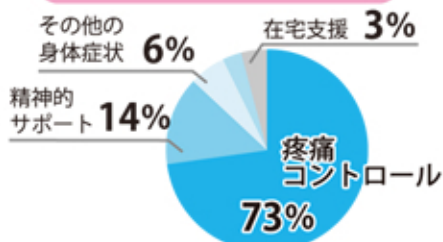


病院だよりとよなか

相談内容としては「がん性疼痛」が最も多く、続いて精神的なサポートや在宅医療への支援などとなっています。がん患者さんの、1~2割の方が早い時期から痛みを感じ、再発や病状の進行により痛みがあらわれる人は約7割になります。痛みをがまんしていると、不眠や食欲不振をまねき気力も低下します。

痛みをかかえながらの治療は大変です。痛みのない、いつもどおりの生活がおくれる状況で治療が行えることを患者さんとともにめざします。

緩和ケアチームへの依頼症例



また、在宅療養を希望する患者さんやご家族の希望に応えるため、地域診療所と連携をはかり在宅でも充実した緩和ケアが行えるよう地域医療体制の整備を進めています。

豊能二次医療圏（豊中市、池田市、吹田市、箕面市、豊能町、能勢町）のがん患者さんの在宅死の割合が高く約12%（大阪府内1位）となっています。在宅で看取るのはむずかしいことですが、地域の先生と連携することにより実現することが可能です。

がん治療とこころのケア -臨床心理士ができるサポート-

がん患者さんは、がんの告知・再発・転移、治療中の様々な場面での不安な気持ちや孤立感から、時に身体症状（不眠・食欲不振など）や、抑うつ的な気分におちいる場合があります。体に起こっていることには、こころも敏感に反応します。

当院では、こころのケアにも全診療科で対応しています。初期段階からの精神的サポートも大事な緩和ケアのひとつです。



緩和ケアチーム 臨床心理士
松向寺真彩子

臨床心理士による心理サポート

◆個人カウンセリング こころの相談として（予約制）

◆グループ療法

情報・知識に広く通じる必要性
孤独感の軽減→仲間を見つける心強さ

- ①がん治療セミナー
- ②サポートグループ
- ③がん患者の集い



がんサポートプログラム
受付



緩和ケアチーム主催の、
がん治療セミナー風景。
テーマに応じ専門スタッフ
が講義します。

詳しくは
「がんサポート
プログラム」を
ご覧ください

「がんサポートプログラム」の受付
精神科外来
TEL：06-6843-0101（内線 2900）

がんに関する様々な相談 -がん相談支援センター-

「がん相談支援センター」では、がんに関する様々な相談を受け付けています。

看護師・MSW※・その他スタッフが相談員として対応しています。

院内の各専門スタッフと連携して患者さん、ご家族の疑問、不安、悩みを解決するお手伝いをします。

※MSW(医療ソーシャルワーカー)：
病院における福祉の専門相談援助員。

例えば、相談内容として・・・

院内相談（当院入院中・外来通院中の方）

- 現在および今後の治療方針
- 家族間の問題
- 介護保険などの制度や利用方法に関して
- 治療費・生活費などの経済的な問題 など

院外相談（他の医療機関に入院中・通院中の方）

- 当院への転院・受診相談
- セカンドオピニオンについて
- 補完代替療法
- 医療機関情報 など

困ったときは、
一人で悩まずに
まずはご相談ください。

「がん相談支援センター」の詳細は、4ページの相談窓口をご確認ください。



がん相談支援センター
医療ソーシャルワーカー
打越奈都子